

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	第24回ふれあい体験学校 in 坂戸
事業主体 (連絡先)	信州中野ふるさと交流団 中野市豊津14-1 TEL0269-38-3673 坂本富士雄
事業区分	(3)教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	883,139円 (うち支援金: 613,000円)

事業内容

埼玉県坂戸市、中野市両市の子どもたちが本年は、坂戸市の子どもたちと、支援金を活用し、キャンプ場で交流した。テントの設営、食事の準備など全員で取り組み、自然の中で協調性を養い、友達づくりができた。また、自然博物館や川の博物館など見学し、自然に親しみ、環境や歴史について、学習ができた。

実施期間: 7月30日(日) ~ 7月31日(月)

参加人数: 中野市子ども22名・役員10名

坂戸市子ども33名・役員9名

合計74名



【秩父キャンプ場
スプラッシュガーデン】

【目標・ねらい】

- ①交流会を通じて、両市の子どもたちの健全な心と協調性や自主性を養う。
- ②中野市のPRを推進する。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①両市の交流が深まり、子どもたちが元気になった。毎年本事業を実施していることにより、個々に連絡を取り交流を続けている子どもたちもいる。
- ②埼玉県坂戸市との交流が、中野市のPRにつながっている。平成26年には、この事業がきっかけとなり、坂戸市と中野市が、災害時における相互応援協定を結んだ。

※自己評価【A】

【理由】

本格的なキャンプができ、子どもたちからは新鮮で、楽しかった、友達もできたなどの感想が多くあり、とても充実した交流会となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後も本事業を続けていくことにより、より一層の市民交流を図り、中野市をPRしていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある